

令和8年度 国立科学博物館実習生募集要項

1 令和8年度博物館実習生受入れに当たって

当館では、平成17年度に「国立科学博物館大学パートナーシップ」事業をスタートし、博物館実習の受入れについては、この大学パートナーシップ事業の一環として行っております。

令和8年度も、原則入会大学の学生を対象として行います。

なお、実習希望者が多数の場合、受入れ人数を制限させていただきますので、あらかじめご了承ください。

2 カリキュラム及び受講資格

【Aコース】

カリキュラム：研究部等のある筑波地区並びに展示施設のある上野本館及び附属自然教育園において、主として 調査・研究、資料の収集・保管について実習を行う（別紙1参照）。

受 講 資 格：原則として令和7年度までに「博物館概論」を履修済みであること。
理系の専攻であること（理科教育関係の専攻も可）。

【Bコース】

カリキュラム：上野本館等において、主として学習支援活動について実習を行う。（別紙2参照）

受 講 資 格：原則として令和7年度までに「博物館概論」を履修済みであること（専攻は問わない）。

3 実習受入れの期間及び人数

実習は、当館の概要や展示等の事前説明のための全体実習（1日間）と、班別実習（8日間）の計9日間で構成されています（博物館実習3単位の内の1単位相当以上）。9日間の連続した日程ではなく、自主研修日（休日）が期間中に3日程度ございます。

（1）実習期間

① 全体実習

下記の日程で全体実習を行います（全体実習は参加必須です）。

- ・5月29日（金）：6～7月に班別実習を受ける学生（Aコース）
- ・9月4日（金）：9～10月に班別実習を受ける学生（Bコース）

② 班別実習

受入れ決定後に班別実習スケジュールを通知します。

（2）コースごとの受入れ人数全体はAコース24名程度（2班）、Bコース24名程度（2班）を予定しております。各班の受入れ人数は、12名程度です。

4 博物館実習の申込み

(1) 申込み方法

所属大学を通して、以下3点の様式（様式1-1～3）を学習課 学習支援担当宛に電子メールで送付してください。

（様式1-1）令和8年度博物館実習の申込みについて（依頼）

（様式1-2）博物館実習申込書

（様式1-3）国立科学博物館実習生調査書

実習申込様式は下記の Google Drive からダウンロードをお願いします。

<https://drive.google.com/drive/folders/1fTPNjHKyfKW5Q0mBFbPicGygkMHn8di7?usp=sharing>

- ① 希望する実習期間を別紙3より班名で選び、「博物館実習申込書」にご記入下さい。
実習希望期間が重複した場合は、調整が必要となりますので、必ず第2希望までご記入ください。
- ② 調整の結果、希望期間以外を割り振られる場合があることを、あらかじめご了承ください。

(2) 申込みの締め切り

令和8年2月27日（金）必着

5 博物館実習生の受入れ調整・決定

- (1) 実習希望者が多く、受入れ可能人数を超える場合は、当館で受入れの諾否及び実習期間の調整を行います。
- (2) 調整の上、受入れの諾否及び実習期間を決定し、令和8年4月上旬（予定）に各大学宛に決定通知を電子メールにて送付する予定です。
- (3) 実習の詳細については、決定通知にご案内を添付します。

6 経費（振込を予定）

実習費として7,500円を徴収します。この他、参考書等を紹介することがあります。
振込後の返金には対応しておりません。

7 申込みにあたっての注意事項

- (1) 原則として「博物館概論」を履修済みであることが必要です。ただし、やむを得ない事情がある場合は履修中であっても認めることがあります。別途お問い合わせください。
- (2) 体力的な配慮等合理的な配慮が必要な学生がいる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (3) 原則として全日程参加可能な方のみお申込みください。
実習期間と授業やゼミ、就職活動等が重なり、決定通知後に学生が辞退するケースがこれまでに見受けられます。他の申込者やカリキュラムへの影響がありますので、申込み

に当たっては、大学や学生自身のスケジュールとよく照らし合わせて十分な事前確認をするよう、学生に対して指導のほどお願いいたします。

なお、原則として実習中の遅刻・欠席・早退分の補講は行いません。

- (4) 上野本館以外の場所での実習も予定しておりますので、必ず各コースの詳細をご確認のうえ、参加希望のコースを決定するよう学生に対してお伝えください。
- (5) 実習生本人の事故等については、原則当館は責任を負いません。学生本人または学校で傷害・賠償保険にご加入ください。
- (6) 実習に伴う交通費、食費、宿泊費等は、別途学生本人の負担となります。
また、交通費や宿泊費等にキャンセル料が生じた場合につきましても、学生本人の負担となります。
- (7) 令和8年度の大学パートナーシップに継続してご入会されなかった場合、実習の受入れをお断りさせていただくことがございます。
- (8) 各大学パートナーシップ入会校からのお申込みは6名以内でお願いいたします。7名以上の希望がある場合は学内にてご調整のうえ、お申込みください。また各校から1名以上の参加を保証するものではございません。
- (9) 実習期間中、実習生として不適切な行動・態度（連絡なしの遅刻・早退・欠席・不真面目な受講態度等）がみられた場合、実習参加資格を取り消すことがあります。実習に前向きな姿勢で取り組む方の応募を期待します。
- (10) 社会情勢、自然災害、当館の都合等によりやむを得ず、実施日程、実施形態、内容等の変更の可能性及び本実習を中止する可能性があります。

8 その他

この件に関するお申込み及び問い合わせ先は、下記のとおりです。

国立科学博物館

学習支援部 学習課 学習支援担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

T E L 03-5814-9187、9166（直通）

E-mail jinzai@kahaku.go.jp

実習カリキュラム Aコース

実 習 内 容	方 法	日 数
1 実習の概要 オリエンテーション、館の概要説明等	説明	0.5
2 博物館活動の概要、館内展示の概要 展示・学習支援事業の見学等	講義、見学	1
3 研究部における活動の実際（筑波地区） (1) 動物研究部 (2) 植物研究部 (3) 生命史研究部 (4) 理学研究部 (5) 産業技術史資料情報センター (6) 標本資料センター	講義、見学及 び実習	3.5
4 国立科学博物館附属施設における研究・学習支援活動 の実際 (1) 筑波実験植物園 (2) 附属自然教育園	講義、見学及 び実習	1
5 博物館学習支援活動の実際（上野本館） (1) 学習支援活動の見学 (2) 学習支援プログラムの開発	講義、見学及 び実習	3

※上記カリキュラムを基本とするが、諸事情により内容や方法、日数を変更する可能性がある。

実習カリキュラム Bコース

実 習 内 容	方 法	日 数
1 実習の概要 オリエンテーション、館の概要説明等	説明	0.5
2 博物館活動の概要、館内施設の概要 展示・学習支援事業の見学等	講義、見学	0.5
3 展示・学習支援活動等の実際（上野本館） (1) 常設展示について (2) 博物館資源の活用等について (3) 学習支援プログラムの実際 (4) 資料を介した来館者とのコミュニケーションの 実践 (5) 学習支援プログラムの考案、実演	講義、実習	6.5
4 研究部における活動の実際（筑波地区） (1) 動物研究部 (2) 植物研究部 (3) 生命史研究部 (4) 理学研究部 (5) 産業技術史資料情報センター (6) 分子生物多様性研究資料センター	説明、見学	1
5 国立科学博物館附属施設における研究・学習支援 活動の実際 (1) 筑波実験植物園 (2) 附属自然教育園	説明、見学 及び実習	0.5

※上記カリキュラムを基本とするが、諸事情により内容や方法、日数を変更する可能性がある。